



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 生駒 祐健  
幹事 渡邊 國和  
SAA 峯口 馨  
会報小委員長 嵐 繁雄

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市城田町中央一丁目 6 番地の 9  
○例会場 ホテルミドリ ホテルミドリ内 〒974-8261 TEL0246-62-3737

第 2542 回 例会 平成 26 年 2 月 26 日 (水・曇)

2013~2014 年国際ロータリーのテーマ

## ゲスト

いわき南警察署

署長 片寄 一郎様

ロータリーソング 我等の生業

— 今月は世界理解月間です —

4 つのテスト

高田 暁 会員



## ◎会長報告 - 生駒祐健会長

皆さん、今日は。本日は 2 月 26 日で 2 月最後の例会日です。2 月は日数が他の月より少ないのですぐに過ぎてしまうように感じます。2 月の間には大雪の日や悪天候の日があったりと皆様には活動するのに支障があったのではないかと思います。さて、今週末の 3 月 1 日は磐城農業高等学校の卒業式でございます。ロータリーでも数名ご案内を頂戴しておりますので出席し卒業生をお祝いしたいと思います。それでは本日のお客様をご紹介致します。いわき南警察署署長の片寄一郎様でございます。後程卓話をお願い致しております。高齢者の交通事故防止対策について貴重なお話を聞けるかと思っておりますので皆様も良く聞いて実践して載きたいと思っております。年寄りの交通事故がかなり多いようですので普段から余裕をもって行動して欲しいと思っております。宜しくお願いします。

## ◎幹事報告 - 渡邊國和幹事

・ お願いの文書が国際ロータリーより来ております。2014 - 2015 年地区委員のお願いということで諮問委員会へ渡邊公平会員、地区副幹事として鈴木修一郎会員、地区資金委員会へ遠藤嘉一会員、クラブ奉仕委員会会員増強委員会委員長に高萩勝利会員、職

業倫理委員会へ清水信弘会員、3 月 15 日まで承諾書を返信することになっておりますので宜しくお願いします。

・ モーグルの世界大会が猪苗代で開催されるということでポスターが届いております。貼る場所のある会員はお持ち帰り下さい。

## ◎各委員会報告

### ◇出席委員会 - 佐藤政司小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

### ◇スマイルボックス委員会 - 山下小委員長

・ いわき南警察署長片寄一郎様の卓話を歓迎して。富岡、富澤、山下、小熊、越田和、押田、清水、荒川 (義)、秋山、高田、煙山、赤津 (善)、嵐、高萩、吉野、荒川 (清)、鈴木 (修)、橋本各会員及び生駒会長、川口会長エレクト、渡邊國和幹事、鈴木副幹事

・ 2 月 25 日いわき勿来ゴルフ愛好会のゴルフ大会で優勝いたしました。 鈴木雅之副会長

・ 前回の例会でご面倒をおかけしました。 松崎会員

・ しばらく休んでごめんなさい。 高瀬、佐藤 (英) 各会員

・ 前回休んでごめんなさい。 小松崎、児玉各会員

・ 本日早退ごめんなさい。 佐藤政司会員

## ◎ゲスト卓話



いわき南警察署

署長 片寄 一郎 様

皆さん、今日は。本日はいわき

勿来ロータリークラブで卓話

をということで何を議題にする

か迷いました。お願いされたのが交通安全協会にも関係している秋山さんと赤津さんでしたので交通事故防止についてと交通事故実態をお話したいと思っております。

## ※交通戦争

昭和 34 年度に初めて交通事故による死者が 1 万人の大台をこえ、10,079 人となり、この頃から交通事故が「交通戦争」という言葉で形容されるように社会問題の一つとして大きくクローズアップされることとなりました。

交通事故による死者は、自動車の保有台数や運転免許人口の増加等により、昭和 45 年にはついに 16,765 人と史上最高を記録しました。

なお、昨年の全国の交通事故による死者は 4,373 人で 13 年連続の減少となりました。

※最近の特徴として、全死者数に占める高齢者の割合が高いことから高齢者の交通事故防止対策は、喫緊の課題となっています。

## ※第 9 次交通安全計画 (平成 23 年 ~ 平成 27 年)

・ 国 ~ 中央交通対策会議

交通事故の更なる減少を目指し、平成 27 年までに死者数を 3,000 人以下、傷者数を 70 万人以下とする目標を設定

・ これを受け福島県交通対策協議会 (会長 佐藤県知事) では、平成 23 年 9 月 16 日、第 9 次福島県交通安全計画を策定し、平成 27 年までに「年間の 24 時間死者数を 85 人以下」「年間の死傷者数を 11,600 人以下」とする目標を設定しました。

## ※平成 25 年における福島県内の交通事故実態

○交通事故の発生状況

・ 発生件数 ~ 8,948 件 (前年比 - 841 件、- 8.6%)

・ 死者数 ~ 79 人 (前年比 - 10 人、- 11.2%)

・ 傷者数 ~ 11,061 人 (前年比 - 1,127 人、- 9.2%)

○主な特徴点

・ 死者数は、昭和 28 年以來 60 年ぶりに 79 人で 80 人を下回りました。

・ 高齢者の死者数は 39 人 (前年比 - 16 人) で、全死者数に占める割合は 49.4% と 6 年ぶりに 50% を下回ったものの、約半数近くを占めており、依然として厳しい状況にあります。

## ○高齢者の交通事故発生状況

・ 高齢者被害の交通事故では、傷者数 1,587 人、死数 39 人です。(昭和 59 年以來 29 年ぶりに 30 人台)

・ 高齢運転者による交通事故の発生件数は 1,601 件 (前年比 - 35 件) で、死者数 21 人で前年より 4 人減少 (全死者の 26.6%)、傷者数 1,930 人 (前年比 - 72 人) で高齢運転者による交通事故は、ほぼ横ばいの状況にあります。

## ※平成 25 年におけるいわき市内の交通事故実態

○交通事故発生状況、死者数、傷者数

### いわき中央警察署

発生件数 1,270 件、死者数 5 人、傷者数 1,538 人

### いわき東警察署

発生件数 638 件、死者数 3 人、傷者数 785 人

### いわき南警察署

発生件数 292 件、死者数 1 人、傷者数 358 人

## 合計

発生件数 2,200 件、死者数 9 人、傷者数 2,681 人

## ○いわき南署管内の交通事故

・ 発生件数 292 件 (前年対比 - 47 件、- 13.9%)

・ 死者数 1 人 (前年対比 ± 0)

・ 傷者数 358 人 (前年対比 - 85 人、- 19.2%)

## ※高齢者の交通事故防止対策

○高齢歩行者対策

・ 交通安全意識の高揚を図る交通安全講習会

・ 参加体験型交通安全講習会 (高齢歩行者教育システム、歩行環境シミュレーター)

○高齢運転者対策

・ 参加体験型交通安全講習会

・ 自動車学校と連携した講習会

○その他の対策

・ 申請による運転免許の取消し

(運転免許証の自主返納)

・ 地域の交通手段の確保方策

(デマンド型タクシー)

出席状況

正会員数  
本日の出席率

50 名  
84.78%

本日出席会員数  
修正出席率

39 名  
95.65%